

第48回

国土地理院報告会

近代測量150年

— 測量の過去と未来 —



特別講演 近代測量の黎明期と工部省
— その歴史的な意味を考える

清水 英範氏

東京大学大学院工学系研究科 教授

愛知県豊橋市出身。昭和57年東京大学工学部土木工学科卒。東京大学助手、岐阜大学助教授などを経て平成10年より現職。専門は、測量・地理空間情報学、地域・都市政策、都市史・都市計画史。特に近年は、政治過程との関連を重視した明治期東京の都市計画史に関する研究を精力的に進めている。

令和元年
開催日 6月5日(水) 10:00~(開場9:30)

会場 日経ホール 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3F
地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結

参加方法 事前登録制・参加費無料
<http://www.gsi.go.jp/REPORT/HAPPYYOU/main48.html>
本報告会は、測量CPDの認定プログラムです。



【問い合わせ先】国土交通省 国土地理院企画部 企画調整課（国土地理院報告会事務局）
TEL:029-864-4584 E-mail:gsi-houkokukai@gxb.mlit.go.jp

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

■プログラム

近代測量 150 年 — 測量の過去と未来 —

10:00～10:10 開会の挨拶

国土地理院長 川崎 茂信

【報告 午前の部】

10:10～10:40 防災教育支援
— 災害への備えに地理教育を活かす —

応用地理部長 中島 秀敏

10:40～11:10 国家座標と高精度測位
— 地殻変動補正システムの構築 —

測地部測地基準課長 岩田 昭雄

11:10～11:40 地理空間情報の更なる活用促進を目指した地理院地図の最近の取組

地理空間情報部情報普及課長 佐藤 壮紀

11:40～13:05 — 昼 休 み —

13:05～13:55 【特別講演】近代測量の黎明期と工部省

— その歴史的な意味を考える

東京大学大学院工学系研究科 教授 清水 英範

13:55～14:05 — 休 憩 —

【報告 午後の部】

14:05～14:35 国土を描いて 150 年
— 基本図のあゆみと最新の取組 —

基本図情報部国土基本情報課長 矢沢 勇

14:35～15:05 地理調査の歴史と今後
— 湖沼や火山の測量技術の変化を例に —

応用地理部環境地理情報企画官 諏訪部 順

15:05～15:35 マルチ GNSS を活用した GEONET の新たな解析手法について

測地観測センター電子基準点課長 檜山 洋平

15:35～16:05 地殻活動解明の道
— 測量技術・地殻変動解析技術の進歩を社会に活かす —

地理地殻活動研究センター長 藤原 智

16:05～16:10 閉会の挨拶

国土地理院参事官 鎌田 高造